

日本鐵鋼協會記事

◎第七回通常總會記事（承前）

○懇親會卓上演說

○會長（香村小錄君）皆様、今日は御多忙の處を大勢様御臨席になりましたて、本會の通常總會を賑はすことを得ましたのは、私共誠に光榮と存する所であります、今日御講演を願ひました大塚さんは非常に有益なる、今日日本の各工業者が大いに努めなくてはならぬ所の能率増進に付ての斬新なる御話をして下さいまして誠に我々の大いに参考とする所でござります、又田路造船少佐はちよつと容易に聞くことが出来ない詳細なる御話を下されまして、最も痛快に感じました所でございます、それであの席上に於て御兩君に對して御禮を申上げなくてはならぬ所を、閉會を宣しないに先立つて席を立つ人があつて、甚だ失禮を致しましたが、茲に改めて御禮を申上げます、御話の中で殊に私の感じましたのは、田路さんの御話の、今度の事柄は日清戰爭後に劣らぬ重大なことであるが、其後に於てあの時のやうに臥薪嘗膽十年を爲すと云ふ所の考が皆國民にあるかどうかと云ふやうな御話がありまして對して大いに私も感じましたのでございますが、今後は此儘工業社會に於て最も臥薪嘗膽をせねばならぬ所であらうと考へます、ところがあの時と違ひまして今後は頻りに和平和と云ふことを各人が唱へますので今度はもう全く世界が平和になつて戰争が全く無いもののやうに思はれて、唯今

も平和博覽會などで賑はつて居ると云ふやうなことではなけれども、是はさう云ふ時期ではないと大いに考へましたやうな譯でございます。
又大塚さんの御話のやうなことはどうも算盤を探つてはなく引合はないが、國家的に大いに發奮しなくちやならぬと云ふ御話も誠に深く感じた所でございます。誠に今日の御講演は非常に面白く拜聽いたしました、深く感謝いたします例年此會に於きましては諸君の短時間の御談話を承ることになつて居りますが、皆様の御都合も宜しければ今夕も五分なり七分なりの間どうぞ何に依らず御話を願ひたいと思ひます。

○種子田右八郎君 唯今御隣から是まで會長を御勤めになりました香村博士に御挨拶をしろと云ふ御命令でありますから、茲に起ちました譯であります、香村博士は此會の會長として御勤め下さいました、其時期は丁度鐵の誠に不景氣な最苦しい時代でありましたので、誠に一面からは御氣の毒にも思ふやうなこともありました、兎に角軍事上其他何の事でも變りは無からうと考へますが、所謂名將の名將たる所は敗戦の時にあると聞いて居りますが、丁度其やうな時に香村博士は會長の地位に御就きになつたことと考へます、是までさう云ふやうな時代に誠に重大なる責任を完全に御盡し下さつたことに對して我々から厚く茲に御禮を申上げます、何卒今後も此會の爲に御盡し下さらむことを茲に御願いたす次第でございます。

それから此機會と致しまして、あとで五分演説と云ふことがございましたが、是もちよつと立ちました折に申上げるの

も皮切りで宜からうと存じますから、ちょっと私から申上げます、世の中には何も分らない人程危険なものはないと私は考へます、今度の田路少佐の御話に依りましても、日本國民が海軍と云ふことに付て十分に了解が行渡つて居らぬ爲に非常に不利益なことになつたかのやうな御話がありました、是は事實であらうと思ひます、就きましては此軍人の仕事は軍人以外の人には分らない、容喙もさせないと云ふやうなことも或は昔はあつたかも知れませぬが、今日は無いと考へますそれで斯う云ふやうな際に於きましては軍人の方から時々罷り出て講演でも致しますのは種々な點から申して非常に利益ぢやないかと考へます、昨年は私は平賀造船大佐をここに御紹介して講演を御願したのであります、今日は又田路少佐を御紹介して御講演を願ひました、非常に有益な御講演を下さいましたのであります、矢張り斯う云ふやうなことは今後も續いて講話を致すことに御願しましたならば、恰も別物のやうに見られて居る我々軍人の者に取りましても非常に利益で我々の爲に少なからぬ利益を得ることと考へますから尙ほ講演者に付きまして我々が御願する必要がありますれば、どこまでもさう云ふ勞を執つて行きたいと思ひます、どうぞ此後も御願したいと云ふ希望を茲に申上げて、是で五分間の責任を終りたいと思ひます。

○會長（香村小鎌君）先づ茲に私は服部博士を御願したいと思ひます、服部博士は本會には評議員として本會の生れて出来ました時からして引續いて評議員をして御出でになれますが、八幡製鐵所に御出でになつた爲に此總會に御臨席を得ましたのは今夕が初めてでございます、且今度重大なる任務を

御帶びになつて支那へ御赴任になりますので、將來我國の製鐵業は皆様の御存じの通り日支協同して以て大成を期さなければならぬものであらうと思はれますので、茲に服部博士の一場の御話を御願いたします。

○服部漸君 唯今香村會長から御指名で私にお話をせよと云ふことでございますが、私は唯今香村博士から御話のありました通り此鐵鋼協會の斯う云ふ會合に出席いたしたのは今日が初めてでございます、又斯う云ふ席上で五分間演説をすると云ふことも是も私は初めてでございます、唯今御指名でござりますから何か言はなくちやならぬことと思ひますが、別段申上げることもございませぬけれども、今日御講演になりました田路少佐の御話を承つて旁々平素考へて居りますことを一言申して其責を塞ぎたいと思ひます、別に新しい考でもないのでありまして、それは我々製鐵業に携はつて居る人は誰でも考へて居ることと思ひますから罷々私が申上げる程のことではないと考へるのであります、平素感じて居る點をひとつと一言申して見たいと思ひます、それは御承知の通り今日我國の鐵鋼業の模様は一年に鋼材として約百二三十萬噸又鑄鐵用として三四十萬噸は出る、斯う云ふ状態になつて居りますと一言申して見たいと思ひます、それは御承知の通り今日生産……總て物を捨へるのに澤山捨へる、さうして經濟的にして數量を澤山出すと云ふことが必要な時代に段々傾いて参りますから、我國の原料、即ち鐵礦なり又石炭なり、此鐵を捨へるのに就て必要な素質を具へて居る所の適當なる原料と云ふものは無いではありませぬけれども、豊富とは言ひ悪く

いのであります、それで假に近き將來に鋼材を掩へる原料なり又年々用ひる所の銑鐵が二百萬噸一箇年に要ると考へますと丁度鐵礦として約四百萬噸、又銑鐵を掩へる爲に要る石炭が約四百萬噸、其内石炭としても約三百萬噸は結着力のある所の日本では餘りない石炭を要する、斯う云ふ時代に段々なつて來ます、ところが、日本でさう云ふ大量の礦石なり、又特別の品質の石炭なり、又數量の多い石炭を供給すると云ふことは甚だ困難な問題であります、隨つて將來に於て經濟的にやると云ふことは頗る困難であると存じます、就いては小資本の分立と云ふことは許さぬ時代に段々ならうと思ひます是は先刻會長の御話で合同と云ふことも既に申されましたが私も頗る是には同感であります、隨つて是は民業の合同なり或は官民の合同なり或は官業の擴張なり、要するに一つの仕事となつて大いに豊富に、さうして經濟的に仕事をすると云ふことが必要であらうと思ふ、斯う云ふ鐵鋼協會の如き之に直接關係のある學會ではさう云ふことを卒先して皆様方が御盡力にならむことを希望いたします、さて私は今回製鐵所を罷めまして支那の方へ参ることになりましたが、原料の問題に就ては私が行つて居る間に出來るだけの研究を致したいと考へます、又内地に居られる方々から御通信があれば總て其方面に向つては調べて見たいと云ふ考を持つて居りますからどうぞ御腹藏なく御用のある際は御通信を願ひましたならば相應の力は盡したいと存じます、一言述べまして此責を塞ぎます、次を私が御指名申上げたいと思ひます、どうぞ寺野さんにお願いたします。

○寺野精一君 御指名を蒙りましたが、併し何も申上げるこ

とはありませぬが、一言申述べたいと思ひます、本日は遅刻いたしましたので大塚君の御講演を伺ひませぬでしたが、大塚さんが多年の御苦心で非常に御成功になつたと云ふことは誠に結構と思ひます、大塚さんの爲のみならず、國家の爲に非常に結構と思ひます、又先程田路君から海軍の協定に付ての御話を伺つて大いに有益と考へたのであります、其最後の結論として伺つたのは日本が今後十年間は臥薪嘗膽の考を以て大いにやらなければならぬ、殊に日本が今後取るべき道は學術の研究をすることであると云ふことを承りまして、私も御同感であります、之に付て感じましたことを申上げて鐵鋼協會の方々に特に御考慮を願ひたいと思ふ、鐵材が鋼材に變り、鋼材が更に硬い鋼材に變つて今日に至つたと云ふことは私が申すまでもありませぬが、過去の歴史を考へて見ますと大砲の地金に鍊鐵を用ひて居つた時代がある、是が段々進みまして、大砲も口徑の大きなものが出来ましたが、鋼鐵でも四尺の厚みのものが出来るやうになりました、さう云ふ工合で、大砲が進み鋼鐵も進み、もう其以上は出來ないと云ふことになつてスチールと云ふものが現れた、それで大口徑の大砲が出来るやうになつて又一段の新しい進歩があつた、それが更に殆ど行詰るまで行つた所で大砲の方では十六吋砲、それから鋼鐵の方ではカーボン・スチールと云ふやうな特殊の材料が現れて、更に進歩した、今日は其殆ど行詰つた時でありますので、ハード・スチールの製法と云ふものが各國に試みられて來た、それが更に殆ど行詰つて居る、そこで此進歩はどうしても更に進められなければならぬと云ふので、各國で研究して居るのであります、茲に幸に十年の休日があ

るのでありますから、此休日の間に鋼材以上の何か一つの新しいものの研究が必要である、又日本が過去の歴史に従してその必要に迫られて居ると思ふ、此點に付ては鐵鋼協會の方々は其道の専門家であつて、現在のスチール以上の材料を造られたいと思ふ、此席にある渡邊博士の如きはスペシャル・スチールに付ては大分御研究になつて居りますが、此の研究を進められて、更に現在に勝るスチールを造りましたならば世界に勝つことが出来ると思ふ、どうしても日本のやうな天然資源の乏しい所は學問を以て行かなければならぬ、私は私は他の席でも御話申上げたのであるが、天の恵の無い所はどうしても人力を以て行かなければならぬ、學問の研究をすると云ふことは是は骨子であらうと思ふ、ですから今後の十年に於ては是までに於て非常に好い機會を得たものと考へますから、今日のやうに壓迫を受け或は非常な苦痛を感じて居ることを、却つて今後の十年に於ては大いに勝る所のものを出すやうに、鐵鋼協會の會員諸君に於ては材料の上に於て御研究を願ひたいと云ふことを希望いたす次第でござります簡単でございますが、是で私の責任を塞ぎまして、次は加茂君に願ひます。

○加茂正雄君 唯今御指名で立たなくちやならぬことになりましたが、實は斯う申すと變ですけれども、寺野先生が立たれたから、是は來るかも知れぬと思うて、自分の言はうと思ふことを考へて居つたのであります、丁度言はうと思つたことを寺野先生に言はれてしまつて何とも申上げやうが無いのであります、併し同じことを申上げるにも何とか申上げ様があらうと思ひます、是は鐵鋼協會の會員諸君に對してと云ふ譯ではありませぬが、材料の研究より外、軍艦で申せば其武器とか、或はそれの操縦の裝置、斯う云ふことに付てはまだ十分改良をする餘地が有り得るものと考へますので、唯今寺野さんの述べられたことを裏書する一つの説とでも申しますか、申述べて見たいと思ふ、今日は大變面白い御講演があつたさうであります、丁度私の所は卒業生のこととて非常に遅くなりまして、到頭其御話を承ることが出来なかつたのは私に取りまして非常に遺憾に考へます、或は御講演の中に私の申すやうなことが出来ましたかも知れませぬが、私は斯う考へます、全くの素人で能く分りませぬが、今回の華盛頓會議で日本の海軍委員の方々は亞米利加及び英吉利の十に對する七と云ふものは、主張はされなかつたかも知れませぬが、七が入用であると云ふことを言明はされたやうに聞いて居ります又それが公に知れて居ないことならば一向差支ありませぬが日本國中殆ど津々浦々まで此事は響き渡つて居るだらうと思ふ、さうして此海軍のホリディがちよつと最後に承つた所では十箇年経つて主力艦を無くしてしまふ、巡洋艦ばかりにしてさうして又十年にして巡洋艦もなくして、さう云ふ風にして理想に到達するやうにと云ふ計畫であると云ふことを…或は間違つて居るか知れませぬが、ちよつと承りました、さう云ふことが實現されますものであれば誠に結構であります、併し矢張り華盛頓會議に出ました御方の御話をちつと伺つた所に依ると、初に國務卿ヒューズがあの案を出された時の議場は實に平和の氣分に満ちて、それが實現出来れば誠に結構であると云ふやうな、實に何とも言はれない心持がしたが、それから後ディスカッショ�이가進むに隨つてどこ

の國も平和と云ふものは望むべきものではない、いつかは戦争があると云ふやうな感じがして、それで終つたと云ふことは平和會議の遺憾なる處であると云ふことを聞きました、何れの日かは戦争があると云ふことになります、私の聽いて居ります所では、矢張り海軍委員諸君が十に對する七が必要でありますと云ふことにせられた、さうなりますと、將來此六と云ふ勢力を持つた海軍に於て働いて居られる所の將校と言はず、下士卒と言はず、いざとなつた場合の士氣がどうであるかと云ふことを大變私は心配する、斯かる状態にして大丈夫、國防は十分であると云ふことを以て戦をするならば是は結構である、併し七なければならぬと言はれたにも拘らずそれが六になつて居ると云ふことでは抑々初から六ではいかぬと云ふ考が起りはせぬかと云ふことを私は心配する、其士氣を旺盛ならしめるのにどう云ふ方法を執られるかと云ふことは、是は無論海軍あたりに於ては其考を御持ちになると思ひますが、其點に於て唯今寺野博士の御話があつた、軍艦を造る所の材料に於て非常に改良を加へ、或は武器に於て非常に勝つたものを研究して、或は其操縦の裝置に於ても非常に勝つたものをやつて置く、必ず日本ばかりではなく他の國も考へて居ると思ひます、他の國でやるよりももう一層進んだものをやつて初めて海軍と云ふものが六を以ても八にも九にも十にも勝つことが出来るものであると云ふことを海軍將校に持たせることが出来ると思ひます、是等に對しましては此鐵鋼協會の會員諸君が將來の軍艦材料と云ふものに付て非常に研究され盡力されねばならぬ理由があると考へます、甚だ蛇足であります

寺野さんの御話を裏書きいたして置く次第であります、次は渡邊君に願ひます。

渡邊三郎君 唯今加茂先生から私に御指名を下すつたのであります、先輩の方々を差置きまして御指名を下すつたと云ふことは誠に自分としては申譯のないこと、又御辭退いたしませぬければならぬことであります、折角先生からさう云ふ御話がありましたのでありますからちよつと申上げます、今日は私勝手を致しまして大塚さんの面白い御話を承りませぬでした、實は數日前に大塚さんの工場へ出まして、大塚さんの御苦心の様子、又獨逸のドクトル・インヂヤーも多額な給料を御支拂て傭聘されて、其技術を研究すると云ふことで御盡力のことを親しく拜見いたしました。尙ほ御話を詳しく伺はなかつたと云ふことは殘念であります、幾らか承知して居りました、又田路少佐殿の御話も結論に近い所から伺ひました、併し御精神は及ばずながら十分伺つたかの如く承知いたして居ります、就きましては御一方は獨逸の優秀なる技術を入れる、御一方は亞米利加に對して非常に殘念であると云ふやうなことを承りまして、自分が先程寺野先生からも誠に身に餘る御紹介を戴いた譯で、僅かばかりそんなことのスペシャル・スチールを造ることをやつて居ると云ふことの上から考へまして、實に技術上でも今以てさう云ふ外國のものを入れなくちやならぬが、誠に殘念であると云ふやうなことを痛切に感じます。私のやつて居ることの中でちよつと申上げますと、一つのクオリティーのハイ・スピードである、或はニッケル・クローム・スチールである、さう云ふやうなクラスの定まつたものであるにも拘らず、亞米利加であるとか、或

は英吉利、又は獨逸、さう云ふ先進國の各製造所の癖を皆持つて來て、内地で之と同等以上と云ふやうなことを始終經驗して居ります、やつて見ると皆同じ所で悪い癖などが這入つて居るのをそれを同等以上と云ふことで比較があり又注文もあると云ふやうなことがありますから、内地のスペシャル・スチールの如きクロリティーの増すもの、又サイズの變化のあるものに付て各國の相手をしなければならぬことは自分達の小さい範圍でも非常に煩に堪へず、隨つて値段が機械其他を御使ひになる方に十分に満足を得させることが出來ないと云ふのが常態であります、どうしても先程兩先生からの御話のやうに、もう相當年限も経つことありますから、内地で以て是は一つになつて、一丸として内地的のものを造らう、斯う云ふことに及ばずながら盡力を致して居ります、二三多少オリジンがありまして出來たものもありますが、此席で御紹介することは甚だ如何かと思ひますが、外の話がございませぬから、そんな御話でも申上げて見たらどうかと思ひます、實はマグネット・スチールと云ふ、電話、自働車、飛行機のマグネット、又一般にメーターと云ふやうなバーマネット、マグネット材はタンクステンを使ふものであります、それは本多先生のマグネット・スチールを除いては今までのタンクステン・スチールの基本の〇・八から〇・九位のレーンジのタンクステン・スチールを使つて居ります、それは段々やつて見ますと、焼を入れてマグネット・フォースを持たせるのであります、一遍エーディングと云ふことを致しますと、マグネット・フォースを受けたあとで鈍ますけれども、鈍つたあとも、段々時間が経つて其フォースが下がる、斯う云

ふやうな傾向が……デトラクチュアの上からでもさう云ふことがあると我々の方では思つて居りますが、どうもあるらしい、ところが段々やつて見ますとタンクステン・スチールに付きましては免れざる現象であるかと思ひます、さう云ふことでは困るのであります、それを改良しまして、さう云ふ下がる力を回復させることは出來ないかと云ふやうに自分のラボラトリで一年ばかり考へまして、其原因が分りましたからタンクステンの如き高級なものを使はないで普通の材料でやりました所が、うまいものが出来ました。

それで今度の新しく出來たものでやつて見ますと、セールのハードニングの出来るものを得ました、それから大きなものになればハイスクールの焼のやうに油で以て焼を入れる、普通の焼入にありますやうにクラックとか或は焼を入れたもののフォームの變ると云ふことはメーカーを造りますのに大變厄介なものらしい、それが無くなりましたことは大變に嬉しい結果を得られましたのであります、是は餘り自分ばかりで認めるとはどうかと思ひまして、本多先生あたりに伺つて見ますと、それは大變實用には面白いと云ふので、丁度獨逸から手紙が參りました、斯う云ふものでは稍々良からうと云ふ意見がピューローの委員であります人から手紙が參つたのであります、寺野先生の御話からそんなことでもやつたら自分の唯今やつて居ること又會てやつたことの御紹介が出来るかと思つて一言申上げた次第であります。次は陸路大佐にお願いいたします。

○陸路錄君 私は何も御話する種を持つて居りませぬ、唯だ華盛頓會議に付きましては自分は斯かる感想を抱いて居ると

云ふことを一言申上げて責を塞ぐことに致します、一國でも一個人に於ても若干のスペシャリティーと云ふものは是非必要であると云ふことは決まつたことであると思ふ、ところで日本の國が今まで商業に於てスペシャリティーを得たか、工業に於て得たか、或は又軍事上に於て得たかと云ふと、何もまだ得て居らぬやうに思ふのであります併しながら其間幾分目すべきはサーベルと軍艦にあると思ふのであります、個人として學問もなし、知慧もなし、其時分に或所に立つて先づ相當に話が出来るかどうかと云ふことは書生仲間に於ても講道館三段とか何とか云ふと、まあ、奴は何にも譯は分らぬが講道館の三段に免じて敬意を表してやらうと云ふやうなことが實際ある、國に於ても其通り、今日一等國の末席に列して居ると云ふのは其稍々目すべきスペシャリティーの軍艦とサーベルとに於て此地位を得たので、他のものに依つて得たのではないと思ふ、然るに今回の會議は本統の會議に非ずして所謂平和の戰争、机の上の戰争に於て先づ如何なる結果を得たかと云ふと、能く分りませぬが、先づ勝ちはしないで負けたか、或はそれに近いことになつたのではないかと思ふ、そこで稍々認むべき所のスペシャリティーを今日失ふ、然らば何を以て今後餘所の國に對抗するかと云ふと、唯今も色々各先輩から御話のあつた通り、クオーリティーの改善とか、或は武器の改善とか、商工業の發達とか云ふことを以て行かなければならぬだらうと思ひます、鐵鋼協會は此クオーリティーの改善とか、武器の改善とか、或は商工業の方面等に極く密接なる關係があると存じまして、將來に於ては鐵鋼協會の發展、皆様の御盡力、さうして今度のコンフアレンスを幸に尙ほ

援助して尙ほ之を助けて、日本と云ふ國を實際に於て一等國たらしめることを希望して已まぬ次第であります、之を以て私の五分の責を塞ぎます、次は島岡君にお願いたします。

○島岡亮太郎君 私が御指名を受けたのであります、私は最近まで支那に居りましたから支那のことを申上げます、支那殊に滿洲の製鐵のことに就て簡単に申上げたいと思ふのであります、が、大塚さんも近頃新聞で見ると關稅問題を頻りに御研究になつて居ると云ふことではありますが、滿洲の製鐵業と云ふものは日本の製鐵業であるか、外國の製鐵業であるかと云ふことを私は從來考へまして、どうも矢張り外國の製鐵業のやうに考へて居ります、今日でもまだ考へて居ります、此滿洲の製鐵業をどうしたら日本の製鐵業にすることが出来るかと云ふことは諸君にも御研究を願ひたいと思ふ、私は支那に居りまして永年此事を研究して居りましたが、まだ今日でも其結論を持ちませぬ、如何にして内地の製鐵事業と協調を保つて共に榮えて行くかと云ふことはどうもいつも矛盾の結果を來たすのであります、此點に就きましても色々保護などの方法に就きましても皆様の御意見を伺つて見まして、茲に遺憾ながら關稅と云ふものがあるから、此造した場合に此關稅を除けると云ふことに就て、日本の製鐵業者が滿洲で製造した場合に此關稅を除けることが出來れば宜しいのであります、が、是がどうしても今日までの私の考では出來ませぬ、さうしますと結局印度のタタ或はベンガルと云ふ、あゝ云ふ所の製鐵事業と、或は亞米利加の製鐵事業と、滿洲の製鐵事業とちつとも變りは無いのであります、彼處でうまく行くには輸入稅を輕減しなければならぬ、ところが日本で輸入稅を

軽減すれば日本の製鐵事業が成立たぬと云ふことではありますから、到底溝洲の製鐵事業を餘り盛に保護する方法は無いやうに考へられます、又あちらの方で合辦事業でやつて居るものに對して何か戻税でもやつたら宜からう、或は特別の保護金でもやつたら宜からう、斯う云ふやうな御意見がありましたが、是も行はれぬことと思ひます、何れあちらで仕事をするには合辦でやらなければ違も日本單獨でやることは出來ぬのであります、其合辦事業に對して保護と云ふことは實にむづかしい問題でありまして、煎じ詰めると結局負擔の重荷となると思ひます、又戻税の方法であります、是も株主は支那の株主が多くなり、あちらで保護金を與へるとどうも實行が出來ませぬし、今あります中で溝鐵の如きは多少支那の株主は這入り得るやうになつて居りますけれども、殆ど支那は這入りつて居りますまい、あゝ云ふものでありますれば又他の方法もありませうが、民間の製鐵事業でありますれば別段良い方法がありませぬ、皆さん御列席でありますから此問題に就て御名案があるなら是非共伺つて將來の参考に致したいと思ふのであります、唯私は問題を出しただけで、答は無いのでありますから、其答を皆さんから伺ひたいと云ふところの提案だけを致しますで私の責を塞ぎます。次は島博士にお願いいたします。

○島安次郎君 唯今溝洲の事情に就きまして溝洲で長らく製鐵事業に御關係になつて、あちらの事業に關して非常に御経験のある島岡君の御話のあつたあとで私が同じく溝洲に居つた者で、島岡君の御話になつたやうなことを申上げるのは重複の嫌ひがあつて非常に恐縮でありますが、併し御指名でありますから悪例を残すといけませぬから起ちましたのであります、實は私は此會の成立いたしました當時はこちらに勤務いたして居りまして、其後暫くの間は此會の御開催になります都度出席いたしまして皆様の御話を伺ふのみではございましたが、自分に取りましては非常に有益なる参考となつて居つたのでありますが、約三年程以前に溝洲の方に轉任いたしましたが、それより以來會に出席いたしまして御話を伺ふ折をいたして、それより以來會に出席いたしまして御話を伺ふ折をいたして、それより以來會に出席いたしまして御話を伺ふ折をいたして、それより以來會に出席いたしまして御話を伺ふ折を得ることが困難になりましたが、非常に遺憾に存じて居りましたが、今回計らずもこちらに歸朝いたして参りました時に丁度宜く御開會になりましたので、出席の上色々の有益なる御話を伺ひ、特に本日の御講演は大塚、田路の御二方の有益な御講演があつて、非常に各方面に亘つて有益なる教訓を得ましたのであります、少なからず愉快に思つて居ります次第であります、今申上げましたやうに私は長らく鐵道の方面に勤いて居りますが、少なからず愉快に思つて居ります、隨ひまして此鐵鋼業本來から申しますれば外様であります、又唯今私の勤務いたして居ります溝鐵は一部分製鐵業もやつて居りますが、私は其方には關係いたして居りませぬ、今後は關係することになりますが、唯今までには全く無關係であります、さう云ふやうな立場に居りますが、併し先刻田路少佐の御話になりました如く、丁度一國の兵備には當面、さあ戰となつて來た時の事情と、それからそれをバックする所の、それの本になる所の施設、廣義に於ける國防と云ふ意味に於てインダストリーのことと御話になりました、それと同様に此鐵鋼業、製鐵業に於きましても私共は直接爐の傍に立ちまして働く人間ではございませんが、間接には或る程度の關係を持

つて居る、私共の石炭の方の仕事から申しまして、此石炭に關係します費用の中で山元の採掘と云ふものは其二分の一に達しませぬので、其の外は山元以外の費用でありますと同様に、鐵鋼業にありましても製鐵業にありましても爐の傍に於て働くと云ふアイアン、メタロジー其ものが非常に重要であると云ふことは是は申すまでもありませぬが、其後方にはりまして運送のこと其他補助の仕事をする者の任務も亦相當有益であり、而も先刻田路少佐の御話もございました、曾て三國干涉を受けて十年の臥薪嘗膽をしたと云ふ其後であります所の場所で現に働いて居りまする我々として、特に其感を深くするのであります、それで我々の今後心掛けなければならぬことに付きまして非常に大なる教訓を得たことを感謝いたします、併しながら先刻御話になりました十年の臥薪嘗膽と云ふことではありますが、今後此華盛頓會議の結果或程度の協定が出來まして、矢張り前の十年間と同様に一つ褲を締めて掛からないといかぬと云ふことがございましたが、是は十年間だけでもうそれで宜いと言ふ御話ではないと私は解釋いたします、更に其後の十年も二十年も三十年も永遠に亘つて緊張状態を續けて行かなければならぬ、十年でももうそれで宜いのだと言ふのぢやない、取分け此十年間が大切だと言ふやうに私は解したのであります、ところで前に私共が今勤務いたして居りまする満鐵に就きまして、日清戦争後十年間の臥薪嘗膽の結果、日露戰爭に於て勝利を得られまして、先づ我國の勢力が満鮮に於て確立されたのでありますが其後今日まで結果を見ますと、其十年間の當時に於ける臥薪嘗膽と云ふことは其十年の臥薪嘗膽だけであつて、極く狹義に解釋

された十年間であつたやうに見えるのであります、廣い意味に申します十年が最も重要な時であつて矢張り永久的に緊張状態を續けて行かなければならぬと言ふやうには思はれ居らないやうに思ふ、先刻御話がありました此華盛頓會議の結果には其背後に於ける國民の輿論なり或は緊張状態なりが十分に満足し得ないやうであつたと言ふ風に私は伺ひましたが、話は違ひますけれども、滿洲に於ける状態は十年の臥薪嘗膽の結果として確立されたる其後の現状はどうも餘り思はしく國民の注意を受けて居るやうに思はれないのです、今日までに關東州及び滿鐵沿線附屬地附近に於ける人間の數を合せまして日本人は僅に二十萬人に過ぎないのであります、それから事業と申しますと、滿鐵が今日運んで居ります所は鐵道としては隨分多忙な鐵道であります、一日一哩四百五六拾圓の收入がありまして東海道線と匹敵する收入を挙げて居るのであります、それは日本に於て要します肥料の大部 分である所の豆を北滿から來るのを運ぶのであります、滿鐵沿線から來るものは割合に少いのであります、それが最も大なる仕事であります、其以外に石炭も堀つて居ります、三百萬噸も出して居ますが、其大部分は滿洲に於て費消されて居るのであります、少ししか内地には參つて居りませぬ、其以外には今日の所餘りインダストリーも起つて居ります、と云ふやうな譯であります、此滿洲が日本の勢力の範圍に這入りました當時に較べますれば幾らかの改良はして居りますやうであります、併し十年の臥薪嘗膽の結果として得られた程にはどうも行つて居らぬやうに思ふのであります、是は我この及ばない點もございませうが、又先刻

華盛頓會議の場合に於ける御感想と同じく内地の方々の満洲に付て持つて居られるインテレストが割合に薄いのかと思はれるのであります、どうか一層満洲のことにつきましても御注意を御向け下さいまして、我々の働きの上に及ぼす點がございましたらば、さう言ふ點に就きまして御指導を煩はしたいと思ひまして、此臥薪嘗膽十年の後に得た此意義と申しますか、其効力を出来るだけ發揮いたすことに努めたいと考へます、大塚さんの御話のエフィシエンシーを増進されましたことに就て誠に結構な例を御示し下さいまして、我々に取りまして非常に有益な御教訓を御與へ下さいました、併し此エフィシエンシーに就ては此頃機械學會の講演會の席で添田博士から御話がありまして、インディヴィデュアル・エフィシエンシーとコレクティヴ・エフィシエンシーと云ふ私に取つては新しい言葉を承りましたが、此インディヴィデュアルといふのはどこまでがインディヴィデュアルであるか知れませぬが、インディヴィデュアルに考へると同時にコレクティヴに考へることが必要であつて、而も我國に於てはインディヴィデュアルよりもコレクティヴ・エフィシエンシーに勝れて居らぬやうに思ふのであります、先刻申しました満洲で今日我々の運んで居ります肥料は、今日やつて居りますだけでも満洲の肥料が内地の農業に要する所の肥料の大部を成して居るのであります満洲の肥料なくして日本の農業と云ふものは先づ成立つて行かないやうな風になつて居るのではないかと私は思ふのであります、其様に此満洲は歴史的に、又精神的にばかりでなく物質的經濟的にも内地のエフィシエンシーであります、それで満洲のエフィシエンシーの増進は内地との關係を適切に保つこ

とに依つて、又内地の方の御鞭撻を十分受くることに依つて又御援助を受くることに依つて初めて之を爲し得るのだと考へるのであります、どうぞそれの御擔當の方面に當られまして改良進歩の實を御擧げになりますと同時に、又我々のやつて居りまする方面の仕事にも御注意をなされまして、我々をして成るべく容易く仕事の出来て行きますやう御盡力を願つたらば私共も誠に仕合せと致します所でありますと、それが又軽て間接に日本の商工業の發達に資することが出来る所以だらうと私は考へます、甚だつまらぬことを申上げまして失禮でございますが立つことを御断り申しまして御指名を受けた場合に御断する例を作るといけまぬので、僭越ながら申上げたのであります。

○會長(香村小鎌君) 今夕は段々皆様の有益なる御話を承りまして誠に有難うございます、此御話のあつたことに就きましては非常に愉快に感じまして時の経つのを覺えないと云ふやうな次第でございます、尙ほ皆様に幾分づつでも御話を願へば非常に幸でございますけれども、餘り遅くなりまして如何かと思ひますので、まだ外の方方にも御話を願ひたいのは山々でございますが、御仕舞に一つ若い方の御話を承つてそれで散會と致したいと思ひますので、ここに御出でになります伏見さんが最近外國から御歸りになつたさうでございまから、どうぞ御一言何にか珍しい御話を承りたいと思ひます。

から、唯私のあちらへ参りました重なる目的がここに御出でになります大塚さんの鉄力其他薄い者のシートの研究に参りましたのであります。今日大塚さんの御話を承りまして大

塚さんの日東製鋼會社では既に薄板に就ては随分能率も増進して良い製品も出て居るさうでございますから、現在の日本の製鐵の方でもむづかしいとして居ります薄板に就て成功されたと云ふことは非常に私個人としても又國家としても結構なことであると思ふのであります。別に御話する材料もございませんので私が若し何かの社長にてもなりましたら大塚さんに対する商賣敵と云ふことにもなりますのですが、それ程の地位でもありません。唯大塚さんの薄板に就ての御成功を御祝ひ申上げます。

○會長(香村小錄君) それでは是で閉會いたします。(拍手)

◎理事會

大正十一年四月二十六日(水曜日)午後五時より本會事務所に於て理事會を開く會議事項左の如し。

一、居所不明者整理の件

(可決)

一、會費滯納者整理の件

(可決)

一、入退會者の件

(承認)

一、震災の爲家屋破損に付修繕の件

右は建築技師に見積を出さしめ次回の役員會議に附することです。

一、其他會務に關する件

當日出席者は香村小錄君、鹽田泰介君等なり。

◎編輯會

大正十一年四月二十六日午後五時より本會事務所に於て編輯會を開き會誌第八年第五號の原稿を選定せり、當日出席者は室井嘉治馬君、櫻井爭三君、行方畠三郎君等なり。

◎圖書寄贈

大正十一年四月中寄贈を受けたる圖書名及寄贈者左の如し。

一、舷窓試驗規程

遞信省管船局

一、大正九年本邦鑛業ノ趨勢

農商務省鑛山局

一、主要工業概覽

農商務省工務局

◎入退會者

前記理事會に於て入退會を承認せられたる會員左の如し。

入會者(住所及職業)

鳥根縣安來町鐵鋼製造業

吳海軍工廠製鋼部技手

日本橋區駿河町三井物產會社金物部

四谷區坂町一〇八

王子町神戸棧橋會社王子電爐工場技師

正員 安來製鋼所

同 同 同 同

准員 安原成吾

早稻田大學講師

同 同 同 同

吳軍港野登呂

海軍少佐

准員

工學士

同 同 同 同

上野景義

同 同 同 同

農商務省工務局

大阪府泉南郡佐野町東洋製鋼會社員
茨城縣助川驛

同 土 肥 末 治
同 清 光 堂

大阪府東成郡裏津村藤永造船所敷津工場

佐野正三郎

◎居所不明者

左の諸君の居所不明に付會誌發送其他に不便有之候間御存知の御方は乍御手數御一報被下度候

正 會 員

伊能莊次郎 伊勢良輔 太田正利
米島左馬藏 直村盛之助 中村喜厚

准 會 員

稻垣和三郎 原田公
小副川要作 大西健太郎 伸田定之
山達 豊 増田政治 林田滿
遠藤呈助 山崎直吉 菅谷正三

◎轉 居

前號報告後轉居者の新住所左の如し。

大阪市東區下味原町一〇七

神奈川縣川崎町元馬見場
市外千駄ヶ谷大字千駄ヶ谷字内藤反甫三一六

牛込區辨天町一五一
姫路市野砲第十聯隊

市外東中野上ノ原八五八
兵庫縣武庫郡深江村西濱

小石川區若荷谷町九四
麴町區飯田町三ノ一

大阪市西區島屋町住友製鋼所
市外下落合四七三

岩手縣釜石町鈴子社宅
秋田市手形谷地町

八幡市製鐵所研究所
兵庫縣武庫郡本山村字野崎二九九

本會准會員奥津幸平君は大正十一年一月逝去せらる誠
に哀悼の至りなり。

〔追 加〕

◎米國七大製鋼會社合併に對する決議案上提

五月十四日東京着電、在米、佐分利代理大使發

米國上院議員ラフオーラットは五月八日決議案を提出し最近當國七大製鋼會社 (Midval Steel and Ordnance, Republic Iron and Tube, Lackawanna Steel, Island Steel, Youngstown Steel &

Tubes, Steel and Tube Co. of America, Brier Hill Steel) の合併談進行しつゝある處、其の成立の曉には「ベン・ム製鋼會社も加入し其の結果約十億弗の大會社となりユー・エス・スチールと並んで當國製鋼業を支配し當業者の競争を防ぐ各種の通商を阻害するに至る可く右はアンティトラスト法に反するものなりとの理由の下に検事總長等に對して其の調査報告方

を求めたるが今月十二日の新聞に依ればベスレヘムは前記七社の内ラツカワソナを合併すべき旨を公表したり右合併の結果「ベ」社は一ヶ月五百五十七萬噸全米製鋼量の一割に當る製鋼量を占むるに至る可き處同社長は右は競爭會社の買収に非ざる上法律に觸れず尙同社が將來の六社組と合併すべしとの風説は無根なりと云ひ居れり。右ラフオーラット決議案は五月十二日上院を通過せり。